

自己評価報告書

評価対象期間 2022年度

(2022年4月1日～2023年3月31日)

学校法人タイケン学園

日本ペットアンドアニマル専門学校

2023年6月6日作成

目次

- 基準 1 教育理念・目的・育成人材像
- 基準 2 学校運営
- 基準 3 教育活動
- 基準 4 学修成果
- 基準 5 学生支援
- 基準 6 教育環境
- 基準 7 学生募集と受け入れ
- 基準 8 財務
- 基準 9 法律等の遵守
- 基準 10 社会貢献・地域貢献

評価委員

役職	所属	氏名
委員長	日本ペットアンドアニマル専門学校 校長	鈴木 輝康
委員	日本ペットアンドアニマル専門学校 教務	辻原 尚寿
委員	日本ペットアンドアニマル専門学校 教務	安保 和美
委員	日本ペットアンドアニマル専門学校 教務	高野 碧斗
委員	日本ペットアンドアニマル専門学校 事務局	酒井 都

大項目	評価項目	自己評価 優れている 3 適切 2 改善が必要 1	自己評価項目総括	特記事項
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	3	学校法人タイケン学園グループは、「物事を科学する人材の育成」「質実剛健な人材の育成」「グローバルな人材の育成」を建学の精神として掲げている。また、本校では、学則第1条に目的を定め、「ペット動物及びその他の各種動物に関する知識並びに管理技術を修得するための専門教育を行い、動物産業界で活躍できる人材を育成」を目指している。	ペット動物及びその他の各種動物に関する知識並びに管理技術を修得するための専門教育を行うだけではなく、自主的・主体的に学ぶ姿勢や「思いやり」の心を持った人材の育成という観点も大切にしている。
	1-2 特色ある職業教育活動に取り組んでいるか	3		
	1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3		
	1-4 理想・目的・育成人材像は専門分野に関連する業界のニーズに適合しているか	3		
	1-5 教育目標・育成人材像は専門分野に関連するニーズに適合しているか	3		

<p>2 学校運営</p>	2-1 目的に沿った運営方針が策定されているか	3	<p>本学園の方針に沿って、当該年度の事業計画、人事・給与制度、財務管理、コンプライアンス体制が確立されている。なお、本学園では2018年に今後の事業の礎となる5か年計画を策定している。</p> <p>また、本学園は各校代表者が週に一度集まり会議をおこない情報共有を行っている。</p>	
	2-2 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3		
	2-3 運営組織や意思決定権は、規則等において明確化され、且つ有効に機能しているか	3		
	2-4 人事、給与に関する制度は整備されているか	3		
	2-5 教務・財務等の意思決定システムが整備されているか	3		
	2-6 業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3		
	2-7 情報システム化による業務の効率化が図られているか	3	<p>コロナ禍を機に、ネット環境も整えて作業もスムーズに行われている。</p>	<p>オンラインでの授業や会議を実施している。</p>

3 教育活動	3-1 理念に沿った教育課程の構成、実施方針が策定されているか	3	教育課程の編成及び実施の方針は、動物業界の現場の声にあわせて策定しており、必要に応じて改善を行っている。	
	3-2 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間は明確にされているか	3	修業年限等は、学則に定め、明文化している。また、シラバスにも、教育到達レベルや学習時間を明記し、本校のホームページで公開している。	
	3-3 学科等のカリキュラムは体系的に構成されているか	3	学科ごとのカリキュラムにおいて、その特性にあわせた科目を用意している。	
	3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3		
	3-5 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	全講師を対象に当校で設定した評価基準により、年に一度、各講師の授業内容について評価を行っている。	
	3-6 成績評価、単位認定等の基準は明確になっているか	3	成績評価と単位認定等の基準は細則に明記し、生徒・保護者等へ周知を行っている。	入学時、学生ハンドブックにて、学則、細則について全て説明している。
	3-7 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3		

	3-8 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	各科目のスペシャリストであり、本校の教育目標を、達成するべく要件を満たしている人物を採用している。	専門の講師陣を招き、より実践的な教育プログラムの提供に力を入れている。
	3-9 教員の資質向上や指導力育成に向けた取り組みがなされているか	3	学園主催の合同研修年に数回実施し、教員の資質向上や指導力養成に取り組んでいる。大学のFD研修にも参加している。	
4 学習成果	4-1 就職率の向上が図られているか	3	1年次から就職のための意識付けを行っている。求人情報は常時閲覧できるようにしている。また個別相談も随時行っている。	就職希望者は100%の就職率である。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	3		
	4-3 退学率の低減が図られているか	3	担任による個人面談を継続的に行い、職員間での情報共有など、個々の問題点を早期に支援する体制作りに努めている。	
	4-4 卒業生、在校生の社会的な活躍・評価を把握しているか	3	卒業時に進路報告を義務付け、就職先を把握している。就職先が変わった場合は連絡するよう指導している。	

5
学生支援

	<p>5-1 進路・就職に関する支援体制整備されているか</p>	<p>3</p>	<p>2年次は就職ガイダンス、就職説明会を実施し、ミスマッチの少ない就職に向けた支援を行っている。また、各担任及び就職担当者が個別相談を随時行い、必要に応じて面接指導を行っている。</p>	<p>就職ガイダンスでは自分を知ることから始め、求人票の見方、内容の説明、見学についてなどの抗議を受ける。その後、学内説明会、学外説明会に参加している。</p>
	<p>5-2 学生相談に関する体制は整備されているか</p>	<p>3</p>	<p>担任による個人面談を適宜に実施し、必要に応じて週1回のミーティングで校長をはじめ教職員全員で共有し、サポート体制がとれるようにしている。</p>	
	<p>5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p>	<p>3</p>	<p>経済面に不安がある場合は、入学前に個別相談を行っている。入学後においては、本人及び保護者と学費サポート体制について一緒に話し合い、個別の状況に応じた支援を行っている。</p>	<p>学生の都合に合わせた様々な学費サポートプランを用意している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分割払い ・専門実践教育訓練支給給付金制度 ・日本学生支援機構・東京都育英会の奨学金 <p>ほかにも様々な支援がある。</p>
	<p>5-4 学生の健康管理を担う体制は整備されているか</p>	<p>3</p>	<p>年一回健康診断を実施し、学生の健康管理に努めている。その他、担任による個別面談を通して、健康状態の把握に努めている。</p>	<p>事務室のなかに設置されており、入り口はカーテンで仕切り、いつでも状況把握できるようになっている。</p>
	<p>5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p>	<p>3</p>	<p>体験学園グループの日本ウェルネススポーツ専門学校の部活動に参加することができる。</p>	<p>学園グループ全体の課外活動として以下のものを開催している。</p>

			また、チアダンス、ブラスバンド部があり、日本ウェルネス高等学校の応援等に参加している。これは学生が自由に参加できる仕組みにし、支援体制を整備している。	<ul style="list-style-type: none"> ・タイケンスポーツ祭(5月) ・タイケンフェスティバル(11月)
	5-6 学生寮など、学生の生活環境への支援は整備されているか	3	一人暮らしを希望する学生には、提携している近隣の学生会館や学生寮、その他学生マンションも紹介し、学生の生活支援環境支援に努めている。	
	5-7 保護者との連携体制は適切に行われているか	3	年一回の年績表を送付している。また、出席状況、成績、体調など問題が発生した際、すぐに保護者にも連絡を取り、状況の把握と共有に努めている。休学や退学などの申し出があった際には、三者面談を基本としている。	保護者への電話連絡の頻度は高い。
	5-8 卒業生への支援体制は適切に行われているか	3	卒業後も気軽に来校できるようにし、仕事の相談、技術的な指導を希望する卒業生等、すべてに対応している。また、学校内の求人を閲覧できるようにしている。ホームページには卒業生向け情報を掲載している。	

6 教育環境	6-1 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように準備されているか	3	動物関連の専門学校として最適な学習環境、設備を整えている。また、web 環境の整備も進めている。	コロナ禍を機に、ネット環境も整えて作業もスムーズに行われている。
	6-2 学外の自習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3		各科マニュアルに基づき、オリエンテーションを行い、実習がスムーズに進められるようにしている。
	6-3 防災に対する体制、学内における安全管理体制は整備されているか	3	年二回避難訓練を実施し避難経路の確認などを行っている。	事故発生時の対応マニュアル、危機管理対応マニュアルを整備している。各教室、玄関には防犯カメラが設置しており、24h録画している。
7 学生の受け入れ募集	7-1 学生募集活動は、適切かつ効果的に行われているか	3	当校ホームページや、媒体経由での資料請求者にパンフレット・募集要項を送付している。また、高校の進路指導室への訪問、校内郊外ガイダンスへの参加、体験入学学校説明会を実施している。	
	7-2 入学選考基準を明確化し、適切に運用していけるか	3	入学選考方法は募集要項に明記し細則の入学試験規定に明記したとおりに実施している。	
	7-3 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3	学納金は募集要項に記載しているが、毎年見直す点がないかを検討し、学園に許可を得ている。	学則に規定している学費等以外の諸経費については、学校説明会で説明している。また、請求時に詳細を明記して送付している。

8 財務	8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	法人としての財務基盤は安定しており、全く問題はない。	
	8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	年度予算、収支計画は、目的目標に照らして有効かつ妥当である。	
	8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	3	タイケン学園本部により、会計監査は適正に行われている。	
	8-4 財務情報公開の体制準備はできているか	3	資料の作成は適正に行われておりホームページで情報公開をしている。	

9
法令等の
厳守

9-1 法令や専修学校設置基準等を厳守し、適正な運営がなされているか	3	法令や専修学校設置基準は厳守され、適正な運営がなされている。	
9-2 個人情報に関する対策を実施しているか	3	個人情報保護に関する対策は適正に実施しているタイケン学園全体としても、個人情報保護についての職員への教育が徹底されている。	
9-3 自己評価の実施と問題点の改善に努めている	3	毎年自己点検、自己評価を実施し、問題点が発見された際には改善に努めている。	
9-4 自己評価結果を公開しているか	3	自己評価結果はホームページで情報公開している	
9-5 学校関係者評価結果の実施体制を、整備し評価を行っているか	3	自己評価に基づき、年二回(5月、11月)開催している。	
9-6 学校関係者評価結果結果を公開しているか	3	ホームページで情報公開している。	
9-7 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3	ホームページで情報公開している。	

10 社会貢献・地域貢献	10-1 学校の養育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3		
	10-2 学生ボランティア活動を推奨、支援しているか	2	学外からボランティア活動の募集があった際には掲示板等でも周知し、学生自らの意思で活動に取り組むようにしている。	
	10-3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2	現時点では地域に対する公開講座や教育訓練の受託は実施していないが、地域からの要望があった場合、都度実施していく。	
11 国際交流	11-1 グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	3	学校法人体験学園グループは、グローバルな人材育成を建学の精神に掲げており、グローバルな感性を持つ人材の育成に、力を注いでいる。留学生の受け入れも積極的に行っている。	